

消防だより

No.88



平成28年12月5日

Tokamachi Fire Department

特集

地域を守る消防団

全国に約86万人いる消防団員。そのうち、十日町市・津南町には、約2,500人が地域の安心と安全を守るため活動しています。消防団の活動は、火災現場での消火活動ではありません。実際にどのような活躍をしているのかをご紹介します。



※春・秋の火災予防運動期間中、拍子木等を使用し防火広報を行う十日町市消防団十日町方面隊第3分団（高山、高田町3南）。この日も雨の中、約30年続く伝統を引継ぎ地域を回る。

地域を守る消防団



【火災対応】
火災消火の基本的な操作の習得を目指すため、ポンプ操作の訓練を平常時から行っていきます。消防団員は日々技術の向上に努め、訓練に励んでいます。

消防団員は、それぞれの仕事を持ちながら災害などの対応にあたる非常勤特別職の地方公務員です。平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。
また、近年は女性の消防団への参加も増加しており、特に一人暮らし高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。

平成28年度ポンプ操作法競技会

消防団の特性

【地域密着性】

消防団員はその管内に居住し又は勤務していることから、地域の人々や事情に通じており、地域密着性を有しています。

【即時対応力】

消防団員は管内に居住し又は勤務することから、災害の際に即時に対応が可能のため、通常の火災はもとより、台風や豪雨などの風水害、さらには大規模地震まで様々な災害に対し、地域防災の中核として活動しています。また、日頃から訓練を行うとともに特別警戒活動を実施するなど、災害に備えて地道な活動も行っています。

消防団員一問一答

インタビュー

今回は表紙の撮影で協力いただいた、十日町市消防団十日町方面隊第3分団の幹部にインタビューをしました。

消防団で辛かったことは？

ポンプ操作大会に出るための毎晩の訓練はやはり体力的に辛かったです。しかし、仲間と励まし合うことで乗り越えることができ、とても達成感がありました。

印象に残っている活動は？

消防団の活動といったら、やはり火災現場です。消防職員と一緒に最前線で消火活動をしたときは、地域を守っている実感が湧きますね。

消防団で嬉しかったことは？

地域の方から「消防団にはいつも助けられてる」、「いつも苦勞さま」と温かく声をかけてもらうとすごく励みになります。

なぜ歩いて防火広報を？
(表紙写真)

車で防火広報をしてもいいんですが、あえて一軒一軒に「火の用心」の声を届けるように歩いていきます。結果として、住民との距離を縮めることにつながっていると思います。



三輪副分団長

消防団年間行事

各地域の消防団員と消防関係者が集まり、新年の行事として、1年の安全祈願を行います。



出初式



現場指揮者としての知識・技術修得のため、教育訓練を行います。

幹部校外講習



大雨やゲリラ豪雨による河川氾濫を防ぐための工法を訓練します。200人近くの消防団員が一堂に会して行う訓練は壮観です。

信濃川水防訓練

雪解け前から訓練が始まり、6月に各方面隊の大会、7月に十日町地区支会の大会があり、8月には県大会が開催され、全国大会は2年に一度10月に開催されます。

ポンプ操作法競技会



春と同様に、各地区で開催されます。津南町消防団は町と連携し、防災訓練と併せて開催しています。

秋季消防演習



消火栓・防火水槽は、積雪で隠れてしまいます。消防団と住民の皆様の協力が迅速な消火活動へ繋がります。

年末防火広報
水利除雪



防火意識の高揚を図るとともに、火災予防を広く周知するため、防火広報で「火の用心」の呼び掛けを行います。

春の火災予防運動



消防団員としての基礎を学ぶもので、規律訓練、ロープ結索訓練等を行います。修了証を授与された団員の表情は自信とやる気に満ちています。

新入団員教育訓練



方面隊毎に実施され、規律訓練や放水訓練等、訓練の成果を披露します。

春季消防演習



女性消防団員による紙芝居をはじめ、子どもたちが楽しみながら防火について学べるよう各ブースで活躍しています。

消防ひろば



住宅火災による高齢者の死者を減らすため、住宅防火診断や防火パレード、夜間広報などを行います。

秋の火災予防運動

郷土愛護の精神

消防団員は「自らの地域は自らで守る。」という郷土愛護の精神に基づいて参加し、地域住民を守るために昼夜を問わず消防活動にあたっています。これは江戸時代の町火消し、明治時代の消防組以来の伝統であり、この基本精神は現代においても変わることはありません。

消防団員サポート制度 協力店募集！

消防団は、地域防災力の中核を担い、災害時の活動はもちろん、火災等の予防啓発から応急手当指導など、地域の安心・安全を守るために活動しています。

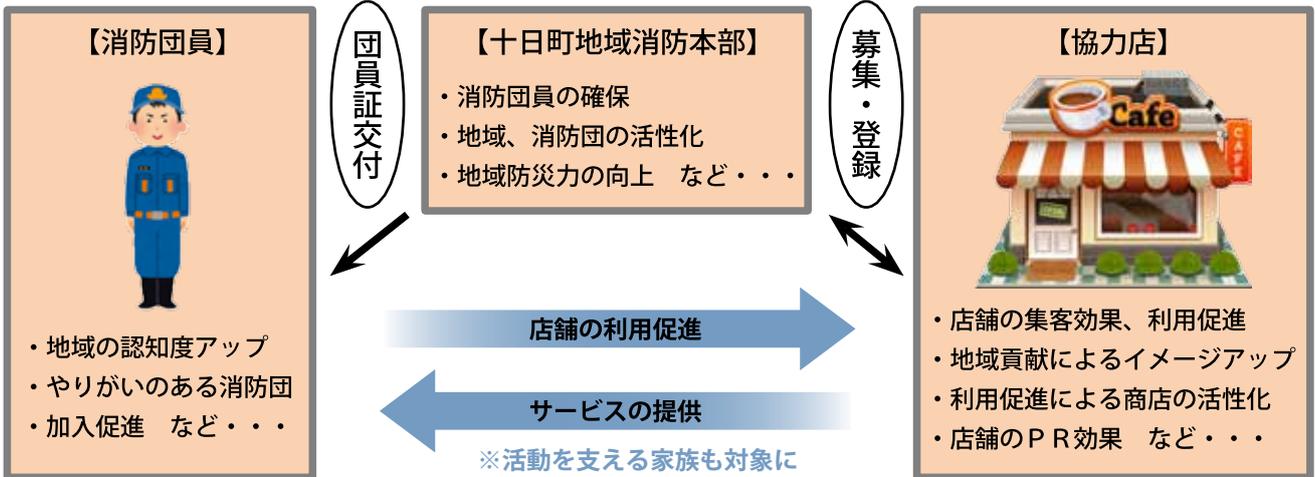
とおかまち・つなん消防団員サポート制度は、地域のために日夜活動する消防団員とその団員を支える家族を地域全体でサポートする制度です。

十日町市消防団員、津南町消防団員及びその家族が、十日町市、津南町の協力店舗（以下、「サポートショップ」）で消防団員証を提示すると、商品価格割引等のサービスの提供を受けられる制度です。

【サポートショップ表示証】



この表示証を掲げた協力店で消防団員証を提示すると、サービスの提供を受けられます。



防火

水沢女性防火クラブ 防災製品贈呈式

このたび水沢女性防火クラブが全国消防機器協会の「平成28年度住警器等配布モデル事業」の指定を受け、水沢地区がモデル地区に選ばれました。

水沢地区には、住宅用火災警報器、住宅用消火器及び防災製品が寄贈されることになり、水沢地区消防演習の場で水沢女性防火クラブに対し、防災製品の贈呈式が行われました。

これらの防災製品は水沢地区の高齢者世帯を対象に贈呈させていただき、皆様方の住宅防火のお力添えになることを願います。



募集

求ム！消防団員！

十日町市消防団及び津南町消防団では年間を通じて団員を募集しています。消防団の一員として地域を守りたい方、消防団の活動に興味がある方は、十日町地域消防本部又は各分署へお問い合わせください。

赤色灯

今年度から広報を担当することになった消防4年目、救助隊の吉楽匠紀（きちらくまさき）と申します。

今号から「消防だより 火の用心」の主担当として、初めて広報紙の編集を任せられました。

小学生のころから作文が人の苦手だったこの私が、広報紙を作成することになるとは夢にも思いませんでした。右も左もわからず、手探りの作成でしたが、今号の出来栄はいかがでしたでしょうか？地域のために頑張る消防団の活動を少しでも皆様に伝えられたら幸いです。

年末にかけ、寒さも厳しさを増していきます。皆様健康に留意されることも、火事なく新年を迎えられるように、『火の用心』をお願いします。